

平成 26 年 6 月 12 日

小山市議会議長

大 山 典 男 様

小山市議会報告会運営委員会

委 員 長 関 良 平

議会報告会実施報告書

1 開催日時	平成 26 年 5 月 20 日～平成 26 年 5 月 22 日
2 開催場所	城南市民交流センター、小山東出張所、桑公民館、豊田公民館、絹公民館、間々田市民交流センター、大谷公民館、中公民館、中央公民館
3 出席議員	議員 28 名 担当：第 1 班（城南、豊田、大谷） 第 2 班（小山東、絹、中） 第 3 班（桑、間々田、中央）
4 参加者数	158 名
5 実施内容	平成 26 年第 1 回定例会審議内容報告 意見交換
6 主な意見・ 要望等	①ラスパイレス指数とは。 ②予算の執行残はあるのか。 ③空き家対策はどのようになっているか。 ④食物アレルギーへの対策は。 ⑤豊田南、北小学校の通学路が危険であり、議員の目で現場を確かめてほしい。 ⑥思川西部地区の上水道の普及を高めてほしい。 ⑦工業団地の誘致について法人税との関わりについて（雇用も市内の方々を） ⑧小中一貫教育の進捗や学校の統廃合について ⑨広域合併、栃木市との合併、将来の構想は。 ⑩用水が溢れて困るので対応を。（大谷地区） ⑪雨ヶ谷と雨ヶ谷の表記が両方使われているので統一してほしい。 ⑫定住自立圏構想で小山駅西口の問題はどのようになっ

	<p>ているか。</p> <p>⑬職員給与の減額はいつまで続くか。転換する指標はないのか。</p> <p>⑭国民健康保険特別会計予算の反対意見の内容は。</p> <p>⑮結城市との共同イベントはないのか。</p> <p>⑯イベントの同時開催について、祇園祭等の伝統行事も審議しているのか。</p> <p>⑰東城南地区の小学校建設に係る、日照権や電波障害等の問題について。</p> <p>⑱L R Tについて</p> <p>〈議会関係〉</p> <p>①議会における質問は平等に行われているのか。</p> <p>②議会と執行部のパワー関係はどうなっているのか。</p> <p>③議会報告会をどのようにまとめ、今後どのように生かすのか。前回の報告会でまとめたものはあったか。</p> <p>④議員定数を削減する意見はあるか。</p> <p>⑤どのような問題があって賛成・反対が出たのか聞きたい。</p> <p>⑥視察の詳細について</p> <p>〈小山広域保健衛生組合関係〉</p> <p>①支払いは税金なのか。</p> <p>②ごみ問題が終わっている答弁に聞こえる。弁護士との話し合いで早期に解決できたのではないか。弁護士費用の説明を。</p> <p>③64億円以上の請求であったが正しい数字なのか、裁判の内容等を調べ、後日また聞きたい。</p> <p>④市民一人当たりの負担額は。</p> <p>⑤この報告会に出席している議員のうち何名がごみ問題の質問をしているのか。</p> <p>⑥広域のごみ問題の最終的な支払総額は。経緯と責任追及はどうするのか。</p> <p>⑦検証するとのことだが結果が大切。結果をどう扱うの</p>
--	---

	<p>か、契約時点も含め問題なかったか検証を。</p> <p>⑧検証するには根拠が必要ではないか。やむを得ない事情を市民に説明したほうが良い。</p> <p>⑨小山広域の問題で54億円となったという報道があった。広域と市議会が良くわからない。報告されて終わりということか。</p> <p>⑩敗訴について、議会での議論が見えてこない。</p> <p>〈要望等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小山市西部地区の振興を望む。</li> <li>・消防本部絹分遣所の設置、感謝している。</li> <li>・まとめの報告が何%というフィードバックではわからない。どのような意見があったのかを載せてほしい。</li> </ul>
7 上記6に対する回答等	<p>①例をあげ、より具体的に説明した。</p> <p>②予算書と決算書の仕組みを説明した。</p> <p>③条例を制定することを説明した。</p> <p>④対応マニュアル等の説明をした。</p> <p>⑤通学路の危険点検を2年前に実施し、教育委員会が危険箇所を点検している。議員も点検をしてゆく。</p> <p>⑥行政に要望してゆくが、集落単位でも加入して頂けるよう住民の方にも話をしてほしい。</p> <p>⑦できるだけ市内に本社を持つ企業を誘致する。地域へのメリットを考え行政に働きかける。</p> <p>⑧「小山市地域とともにある学校づくりに関する提言書」「小山市小中一貫校に関する提言書」が3月にまとめられ、小山市学校適正配置等検討懇話会の答申とあわせて、地域の実情を考えながら、これから地域ごとに地元の意見を交えて検討していく。</p> <p>⑨栃木市との合併は無くなったが、今後とも近隣市町と様々な機会話し合いをしてゆく。</p> <p>⑩議員が質問しており、雨水幹線を含め検討してゆく。</p> <p>⑪執行部に確認し後日報告する。</p> <p>⑫定住自立圏構想と小山駅西口再開発問題は別問題です。小山駅西口再開発は人口が減少したため進めてきた。</p>

- ⑬ 人事院勧告に基づき全国的に実施している。ラスパイレス指数を単純に使用するのは問題と思う。国に申入れをする必要はあると思う。
- ⑭ 低所得者のためにもっと一般会計から国保の特別会計に繰り入れるべきという理由による反対。
- ⑮ 9月議会に結城市との友好姉妹都市締結の議案が出る予定。10月に調印予定。それを受け、結城紬の振興やイベント、施設の相互利用等が進められてゆく。
- ⑯ イベントの同時開催は市主催のイベントであり、祇園祭等の伝統行事は実行委員会が別であり、審議の対象になっていない。
- ⑰ 基本構想づくりに取り組む際、「東城南小学校建設検討懇話会」が設置され、PTAや地元自治会などの関係者の意見を十分に聞く場が設けられる。
- ⑱ 検討中であり、これからの協議となる。

〈議会関係〉

- ① 年間を通じ回数が定められており平等である。
- ② 是々非々でバランスよくできている。
- ③ この後の会議で集約する。議会は合議体なので最終的には賛否で決める。道路の問題、街灯の問題は執行部に要請した。
- ④ 近隣市町と比較しても、定数や委員会を考えても適正である。
- ⑤ あげぼの保育所の仮園舎7千7百万円の問題では12月議会で長期使うという附帯決議が可決された。2月議会では長期利用のため建築費がかかり、7千7百万円から1億5千8百万円に跳ね上がり問題となったが、賛成多数で可決した。
- ⑥ 広報委員会等で検討してゆく。

〈小山広域保健衛生組合関係〉

- ① 2市2町の分担金で12月に47億円を仮払いした。その後の和解までの経過を説明。二度と起きないように検証し

	<p>てゆく。</p> <p>②最初は3名の弁護士で、入れ替わり現在は5名の弁護団。累計7千万円の弁護士費用が出ているが、やむを得ない。</p> <p>③10年もの裁判を争った行政判断が正しかったか議会も検証してゆかなければならない。議会としての行動を報告する機会を設けることになると考えている。</p> <p>④小山市民の一人あたりの負担は2万4千円超となる。</p> <p>⑤石川議員が質問しているが、広域の議員は広域の議会で発言している。</p> <p>⑥最終金額は54億円。議会としても審議をしてきたが、情報が完全に公開されてこなかった。(広域の全員協議会のみ公開されての審議だった)再発防止のためにも原因を追究してゆく。</p> <p>⑦検証の在り方は、検証結果を受けて市民が納得できるものにしなければならないが、どこまで調査できるか。</p> <p>⑧執行部としても検証するが、チェック機関である議会としても検証しなければならない。市民に説明責任があるが、議会がどこまで出来るか勉強してゆく。</p> <p>⑨広域は2市2町の分担金で運営されている。3月6日の和解案では産業廃棄物が宮城県の責任になったため、小山市の最終責任がなくなり、低額の54億円になり、4月30日の広域の臨時議会で可決された。今後執行部だけでなく議会としても検証する必要がある。</p> <p>⑩広域議会でその都度裁判のやり方を含め議論をしていた。しかし係争中との事もあり、弁護団の願いで秘密会として行ったため、市民に途中の議論を伝えられなかった。</p>
--	--